

めざす学校像<安心して過ごせる学校>『今日が楽しく、明日が待たれる学校』



学校だより

鈴鹿市立加佐登小学校

電話 059-378-0063

FAX 共用 059-378-0006

校長 山中 喜宏

https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/

加小っ子だより

令和5年5月22日 No.4

新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同じ5類に移行され、今まで制限されてきた学校の教育活動もできるようになってきました。

そのような中、PTAや地域等の方々にお世話いただきながら教育活動ができることに感謝しています。

第4号では、PTAや地域等の方々にお世話になって実施できた行事や活動についても紹介します。

1年生を迎える会をおこないました

5月10日(水)に、4月に入学した1年生が加佐登小学校の一員として早く学校生活に慣れて、一緒に加佐登小学校を盛り上げてほしいと、児童会が中心となって企画・運営し、迎える会を行いました。

児童会長のあいさつの後、校歌を聴き、学校紹介〇×クイズで加佐登小学校のことを知らせてもらったうえで全校児童がみんなでじゃんけん大会をして盛り上がりました。

企画・運営を担ってくれた児童会のみなさんありがとうございました。



花の種まきや夏野菜の定植を行い育てています

1年生の生活科や3年生の理科であさがおやひまわりなどの夏に咲く花の種をまきました。

また、2年生の生活科やたんぼぼの作業の授業でトマトやキュウリなどの夏野菜の定植作業を行っていました。

今後、種や苗がどうやって育ち、花がどのように咲くのか、実がどうやって大きくなっていくのかを観察しながら、育てていき、夏にきれいな花の鑑賞や実をたくさん収穫できることを楽しみにしたいと思います。



交通安全教室で自転車の乗り方を学びました



5月16日(火)、運動場に設置したコースを活用して、3・5年生を対象にした交通安全教室が開催されました。交通指導員とPTA役員の方に指導していただき、自転車の安全な乗り方を学びました。

子どもたちは、あらかじめお家でお世話いただいた点検済みの自転車を学校に持参し、実技指導を受けることができました。特に交差点では、一旦停止をして「右・左・右・うしろ(右後方)」を見て自動車等が来ていないことを確認してから出発することを重点的に実習しました。ご家庭でも、お子さんが自転車で出かける際には、交差点で一旦停止することをご指導ください。



また、ヘルメットの正しい着用の仕方についてもお声がけください。

なお、自転車を押して登下校する3・5年生の見守り活動にPTA及び地域の皆さんにご協力いただき本当にありがとうございました。

毎月10日は「加佐登小人権の日」です

加佐登小学校では、「安心して過ごせる学校『今日が楽しく、明日が待たれる学校』」を目指して、毎月10日を「人権の日」として、「お互いを尊重し、なかまも自分も大切にする」日とし取り組んでいます。

職員はピンクのものを身に付けて、いじめ反対を訴える「ピンクシャツ運動」にも取り組んでいます。三重県や鈴鹿市では、4月、11月をいじめ防止強化月間として取り組んでいます。本校では強化月間だけではなく、毎月ごとにも取り組んでいます。

各ご家庭でも、この日は「お互いを尊重し、なかまも自分も大切にする」ことについて考えていただければ幸いです。

ピンクシャツ運動とは

ピンクシャツ運動とは、2007年にカナダで誕生した「いじめ反対運動」です。カナダで、中学3年生の男子生徒がピンクのポロシャツを着て登校し、いじめられました。それを知った高校3年生男子2人がその日の内にピンクのシャツなどを大量に購入し、メールや掲示板で友人知人などに翌日に着用することを呼びかけました。翌朝、2人はシャツなどを呼びかけた人に配って着てもらいましたが、この日に呼びかけ以上の学生がピンクの服で登校し、学校がピンク色に染まり、男子生徒へのいじめがなくなりました。以降、毎年2月最終水曜が学校や職場にピンクのものを身につけて行くピンクシャツデーとしてカナダ全土に定着し、アメリカ、イギリスなど世界各国へ広まりました。この運動は、「いじめ反対」のメッセージとともに、いじめの問題を個人や当事者間だけの問題ではなく、社会全体の問題と捉え、いじめの定義や、傍観者になることなどを含め、いろいろないじめの問題について考える機会となっています。

<出典> 三重県 HP より <https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0045700068.htm>

毎月10日は加佐登小人権の日

著作権の関係で
ホームページへの
掲載を控えさせて
いただきます。
ご了承ください

これは、柑田みつをさんの
「めぐりあい」という詩です。
私たちは、生まれてからこれまで
たくさんの人と出会い、
これから先も
たくさんの人たちと出会うでしょう。
一づ上の学年になって、
また新しい人と出会って、
その人のことをたくさん知っていきましょう。

友だちを大切に
自分を大切に